

—有力企業トップが語る— わが社の成長戦略

大阪北部産業界

日下部機械社長 箕原 寛秀氏



重工業の生産設備の製造・

販売が主力で、特に火力発電所のボイラ向けを得意とする。この分野では世界でナンバーワンのシェアを持っている。設備・機械は中国など海外で生産するものも多く、コ

システムの構築に強み

ストメリットを出せることも強みだ。制御機器を扱う企業とも数多く連携しており、設備・機械の単体だけでなく、生産ラインなどのシステムにまとめる力に自信がある。IoT(モノのインターネット)時代の到来で、システム構築に強いわが社の出番が来たと実感している。現在、顧客二一

ズを踏まえてIoT関連の装置の開発も行っている。今後は、自社開発したヘツ

と連携し農業機械の開発も行っている。環境分野でも新たに製品納入を始める。

ダーニップルロボット溶接装置をグローバルに拡販する。狭間隔のニップル(枝管)を効率よく溶接する新鋭機で、これを伸ばしていきたい。科学技術振興機構の支援の下、将来を見据えて大阪府立大学で二一ズに対応していく。

主力顧客の重工業業界は今、活況とは言いにくい状況にあり、競合先も徐々に減っている。しかし「最後の1社になってもお客さまの生産を守る」ことを大方針に、全力で二一ズに対応していく。